

# 令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価, 運動実施時間における課題と対策)

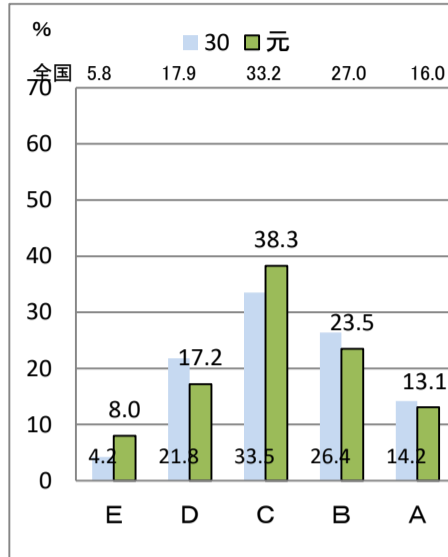
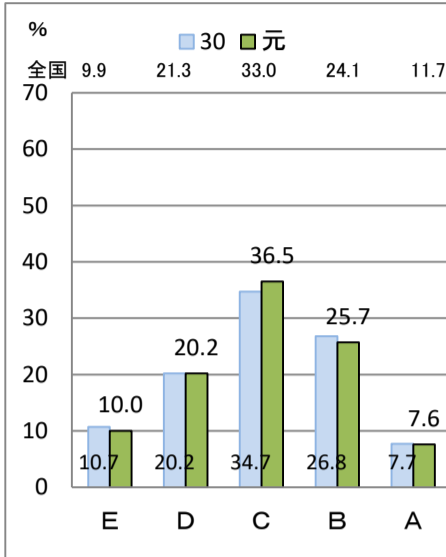
薩摩川内市 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

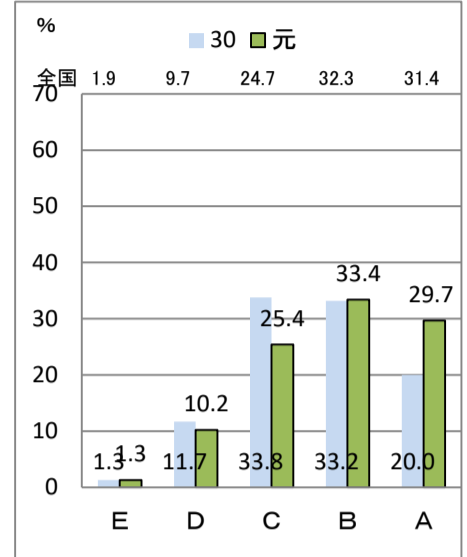
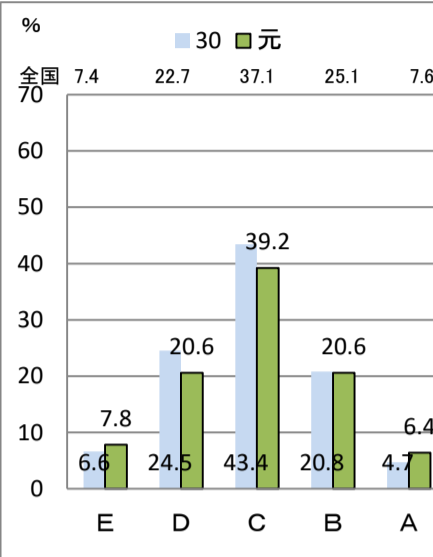
※グラフ内, 上の数値は, 令和元年度各総合評価規準の全国の割合を表す。



## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は, 総合評価規準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

※ グラフの縦軸は, 総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

### 〈現状及び課題〉

- ・全国と比較すると, 男子はCの割合が3.5ポイント高く, Aの割合が4.1ポイント低い。女子はCの割合が5.1ポイント高く, Aの割合が2.9ポイント, Bの割合が3.5ポイント低い。
- ・昨年と比較すると男女ともにCの割合が増加し, A・Bの割合が減少している。
- ・男女とも, E, D, Cの児童の体力に関する興味・関心を高めさせ, Cの児童をBに, Bの児童をAに引き上げる体力向上の取組が必要である。

### 〈現状及び課題〉

- ・全国と比較すると, 男子はCの割合が2.1ポイント高く, Bの割合が4.5ポイント, 低い。女子はBの割合が1.1ポイント高く, Aの割合が1.7ポイント低い。
- ・昨年と比較すると男子はA・Eの割合が増加し, C・Dの割合が減少している。女子はA・Bの割合が増加し, C・Dの割合が減少している。
- ・男子はE, D, Cの生徒をBより上へ引き上げ, 女子はD, Cの生徒をBより上へ引き上げる体力向上の取組が必要である。

## 【小学校 運動実施時間】

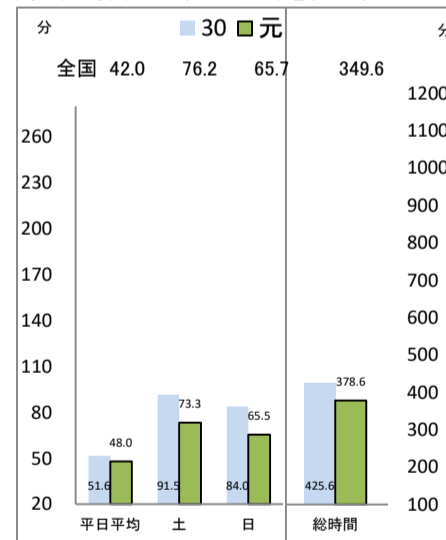
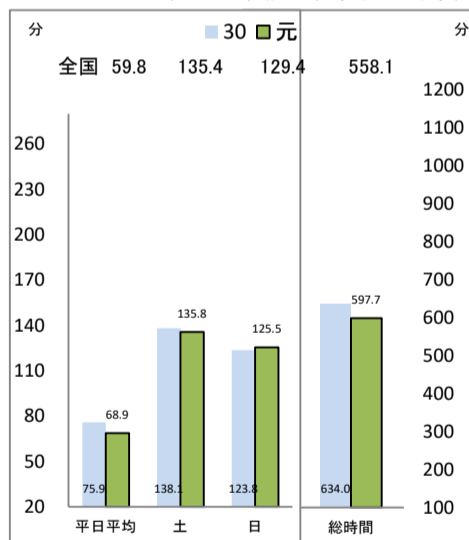
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内, 上の数値は, 令和元年度運動実施時間の全国の平均を表す。



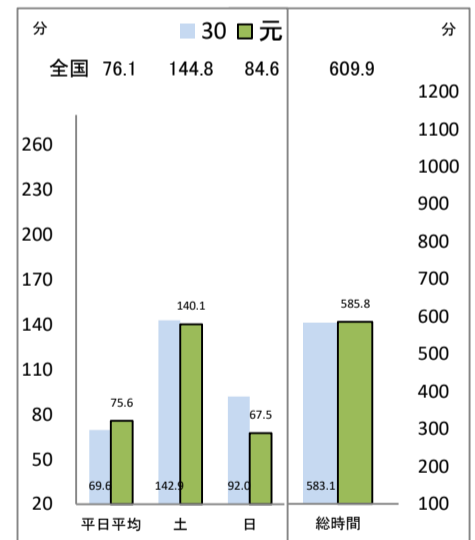
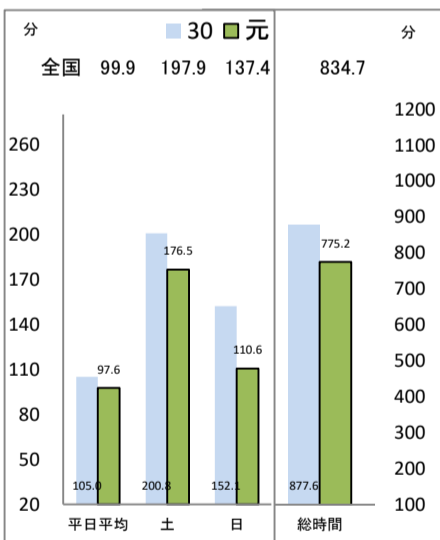
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの横軸の平日平均は, 月曜~金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

※ グラフの縦軸は, それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈現状及び課題〉

- ・全国と比較して, 1週間の総運動時間は, 男子は39分程, 女子は29分程長い。平日, 土・日曜日の運動時間は, 男女とも平日は長く, 土・日曜日は短い傾向にある。
- ・昨年度と比較すると, 男女共に減少傾向にある。
- ・特に, 平日の運動時間の確保と, 女子の土・日曜日の運動時間確保の手立てが必要である。

### 〈現状及び課題〉

- ・全国と比較して, 1週間の総運動時間は, 男子は59分程, 女子は24分程短い。平日, 土・日曜日の運動時間は, 男女共に土・日曜日が短い。
- ・昨年度と比較すると, 男子は, 全体的に運動時間は減少し, 女子は特に, 日曜日の運動時間が大きく減少している。
- ・男子は平日, 土・日曜日, 女子は土・日曜日の運動時間確保の手立てが必要である。

## 【改善策】

### 【小学校】

・小学校体育主任等研修会の充実(体力の現状分析と具体的な手立ての紹介, 学校規模に応じた取組の協議及び情報交換)

### 【中学校】

・「チャレンジかごしま」の全校実施(休み時間, 特別活動, 学校行事での長縄跳び等の実施や生徒会と連携した取組)

### 【共通・その他】

・たくましい「かごしまっ子」育成推進プランに基づいたPDCAサイクルによる体力向上の取組の推進(管理職研修会等の活用)

・新しい学習指導要領の内容を踏まえた授業改善のための研修の実施(5分間体力づくりチャレンジ等の設定, 年間を通した取組等)

・学校の実態に応じた「一校一運動」の取組や家庭と連携した「一家庭一運動」の啓発による平日, 土・日曜日の家庭での運動時間の確保